

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

学校名	唐津市立相知中学校		
1 前年度 評価結果の概要	・不登校対応、教育相談、特別支援教育の領域では環境整備、職員の組織的な対応、他機関との連携など様々な手立てを行った。「困ったときに先生たちに相談することができる」と回答した生徒の割合が昨年より1%増加し、80%であった。信頼関係を紡ぐかわりを粘り強く行っていることが生徒に伝わっていると考えられる。 ・次年度の展望として、学力向上へ向けて、その基礎となる学習集団作りのために人権・同和教育の充実を図る。職員、生徒の人権意識を高め、共感的理解をもって互いを尊重し合う風土を醸成し、学校生活の充実感、保護者の学校教育への安心感を向上させたい。		
2 学校教育目標	しなやかに生きる力を身に付けた生徒の育成 ～自分らしく・あなたらしく～		
3 本年度の重点目標	① いじめや差別を見抜き許さない人権・同和教育を推進する。（すべての教育活動の根幹への位置づけ） ② 学習評価を指導に生かし、生徒が主体的に学習に取り組むための授業改善を行う。 ③ 自ら生き方をデザインする態度を養うため、学校生活における問題解決に自主的・実践的に取組むよう支援する。（キャリア教育の視点）		
4 重点取組内容・成果指標			
(1) 共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	○校内研究を踏まえた授業改善	○校内研究を踏まえた学習集団作りと授業改善に取り組んだ教員が90%以上	・講師招聘による職員研修を実施し、学力向上の基礎となる学習集団作りと授業改善に生かす。 ・職員が授業を参観し合い、学力向上の基礎となる学習集団について意見交換を行う。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○特別の教科道徳や人権・同和教育に関する授業が自分を成長させるために役立っていると感じている生徒が90%以上	・特別の教科道徳の授業づくりに関する校内研修等の実施 ・人権学習や部活動問題学習の授業を家庭・地域や他校に公開する。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答する教員が100%。	・年度当初にいじめの認知・覚知について共通認識を図る場を設ける。 ・生徒指導主事を中心に情報共有し、対応の協議を迅速に行う。
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・生徒それぞれの立場での前向きな意思を認め、リーダーシップとフォロワーシップを両立した集団作りを図る。 ・校則の見直しや自らの生活習慣・学習習慣に関心をもち、学校生活における問題解決に自主的・実践的に取組むよう支援する。
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○時間の使い方を改善している生徒80%以上	・家庭での時間の使い方に留まらず、学校生活においてもタイムマネジメントを意図した指導を継続する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定 ・年次休暇取得の推奨
●特別支援教育の充実	○生徒、保護者のニーズに応じた教育活動の展開	○特別支援学級の生徒、保護者の学校教育に対する満足度80%以上	・特別支援教育コーディネーターを中心に、全職員で適切な教育環境をつくる。 ・教職員、保護者の情報共有を密にしながら、生徒の個に応じた成長を促す。
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
◎志を高める教育	○SDGs～持続可能な開発目標～を意識した教育活動の展開	○「持続可能な社会を創るための取組について考え行動している」生徒80%以上	・総合的な学習で、SDGsの視点から日常生活を見直した実践を行う。